

近畿支部総会&セミナー

4月16日
KKRホテル大阪
出席会員87人

福井支部長 支部創立20周年でさらに前進
5全員再選

平成22年度「近畿支部総会及びセミナー」が4月16日、大阪市・KKRホテル大阪で開かれた。福井支部長が冒頭にあいさつし、「近畿支部は、創立20周年を迎えました。私どもは、これまでも団結して活動して参りましたが、今後はさらに支部と日遊協全体の前進のために努力を重ねたい」と決意を語った。続いて日遊協・深谷友尋会長が「日遊協は効率的な活動を進めるために新しい専門委員会制度でスタートしました。若い人にぜひ活躍していただきたい」とあいさつし、来賓の大阪府警生活安全部・大塚敏郎保安課長が祝辞に合わせて講話を行った。

議事に入り、福井支部長をはじめ平川順基、井上威夫支部長などすべての役員が改選され、新たに日遊協専門委員会の委員になった4人が役員として追加された。

第二部のセミナーでは以下のとおり4つの講演が行われ、134



近畿支部総会で再選され、決意を述べる福井支部長



近畿支部総会で挨拶する大塚敏郎保安課長

人の参加者が熱心に聞きいった。
▽熱狂的ファン（レイピングファン）づくり
(株)ガイアシステム取締役

副社長 松村俊和氏
▽最近のゴト情報について (株)コスモローム研究所代表取締役 南光國昭氏
▽省エネ法の管理者実務について (株)エンタテインメントビジネス総合研究所副主任研究員 近藤博寿氏

▽お客様の目線で考える業界改革 (株)ダイナムホールディングス代表執行役社長 佐藤洋治氏
セミナーのあと、懇親会が開かれ、会員・来賓87人がなごやかに歓談した。

連絡会議

警察庁と連絡会議
深谷会長以下10人が出席

警察庁と日遊協の今年最初の連絡会議が4月15日、東京・グランドアーク半蔵門で開かれた。警察庁から担当官の出席をいただき、日遊協側からは深谷会長はじめ、副会長、専務理事、常務理事、庄司正英、平本将人両相談役の10人が出席した。深谷会長が「いまほどこ各団体がまとまっている時はありません。さまざまな課題について計画を推進しています」と産業

界の現状報告をしたあと、各担当者から健全化推進機構、ホール5団体の状況、有識者会議、組織改編論文・作文コンクールなどについて報告された。そのあと、健全化や流通問題などについて意見交換が行われた。

第3回 有識者会議

事業概要の説明と討議

日遊協の今後のあり方と、新公益法人3法での公益法人への移行についての指針を討議する第3回 有識者会議（河上和雄座長）が4月20日、東京・千代田区のグランドアーク半蔵門で開かれた。日遊協側から10年度の事業概要と、「健全化・適正化事業」「社会貢献・環境対策」「共益活動費」「管理費」の4つに分けた事業活動経費概算の説明があり、これをもとに公益法人へ移行するための方向性について意見を出し合った。

この日の出席メンバーは河上座長以下、井嶋一友、堤義成、關昭太郎、鈴木隆俊、篠原通夫の6氏。日遊協側から深谷会長、庄司副会長、篠原専務理事、伊東常務理事、柏原監事が出席した。

23編が最終審査へ 50編を対象に 第2次審査

第9回パチンコ・パチスロ論文・

作文コンクールの2次審査が4月21日、日遊協本部会議室で行われた。1次審査を通った50編（一般の部、業界の部各25編）を対象に投票した結果、一般の部11編、業界の部12編、計23編が最終審査に進んだ。

最終審査は5月12日に有識者委員、業界団体委員、日遊協委員の投票によって行われ、最優秀賞から佳作までの入賞作品が決まる。6月3日の第21回日遊協通常総会で優秀賞以上の受賞者を招いて表彰する。

第9回のテーマは「一般の部が「私が打ちたいこんな台、行きたいこんなお店」「私がパチンコをしない理由」、業界の部が「パチンコ



最終審査に向けて23編に絞った2次審査

業界において、われわれが取り組むべき課題と対策」「お客様との思い出」。応募総数は746編（一般の部273編、業界の部473編）だった。

今回の2次審査は、従前から担当していた旧・明日の産業を創る委員会のメンバーの投票で行われた。第10回（今秋募集予定）からは新設の広報委員会の担当で行われる。

秋の国会で法案提出へ 「カジノ議連」超党派で設立

カジノ合法化に向けた超党派の「国際観光産業振興議員連盟」（カジノ議連）の設立総会が4月14日、参議院議員会館で開かれた。同議連には民主、自民、公明、社民、国民新、みんななど各党の国会議員74人が入会した。会長に古賀一成氏（民主・衆）、会長代行に岩屋毅氏（自民・衆）、幹事長に牧義夫氏（民主・衆）が選任された。総会後の記者会見で古賀会長は、

「今までの議論で法案大綱、条文までできていますので、これらを確認しながら秋の臨時国会には法案を提出する方向で作業を進めて



設立総会で挨拶する古賀一成会長

いく。日本の成長戦略として、また国際的ハブ機能の強化として、国際観光戦略を構築する。カジノはその観光産業の新しい中核となる」と述べた。

牧幹事長は「問題は刑法のとばく罪をどう乗り越え、国民の理解をどう得るかだと思ふ。民営においても、依存症対策等にきちんと配慮しつつ、税金等をしかるべく社会に還元するスキームをつくり上げる中で国民の理解を得、法制化できるようにしたい」と述べた。

また同幹事長は、パチンコの換金合法化に議連の審議が及ぶかどうかについて聞かれ、「パチンコ営業は風営法の中でくくられている。

これはギャンブルではなくあくまで遊技であり、カジノ新法とは別の法体系だと思ふ」と、審議する予定にないことを明言した。ただ、「税金等を社会に還元しないと国民の理解を得られないであろうという意味においては、カジノとパチンコは似ている。近い将来、遊技新法を立ち上げることになれば、カジノで使われたスキームも生かされてくるだろう」とも述べた。

不正対策室会議

「鬼浜」で情報交換 PSIO入力は順調に推移

不正対策室会議（室長・伊東愼吾日遊協常務理事）が4月19日、日遊協本部会議室で開かれ、PSIO（遊技産業不正対策情報機構）の入力状況の報告やゴト情報、不正情報を検討した。3月のPSIOの入力数は711件で、前年同期より256件増えており、携帯での入力が順調に伸びている。不正情報では、店の対応、確変や宣伝に関するものが増えている。また、ゴトでは、3月下旬に大騒ぎとなったパチスロ「鬼浜」に関する詳しい報告が行われ、現在の状況、対策について話し合われた。

中古機流通協議会

4種の新書類の作成

要項改正点と合わせて確認

第66回中古機流通協議会(委員長・金本正浩全日遊連副理事長)は4月28日、全商協会議室で開かれた。6月1日からの運用となる、中古機流通制度改正に関する詰め作業として、関連する要綱、要領(中古機流通健全化要綱、中古遊技機取扱業務実施要領、遊技機の認定申請に関わる業務の実施要領)の改正点と新しく登場する書類様式の確認等が行われた。

を移動・売却・再設置する際に当該遊技機が正常かどうか等、設置元の店舗として認識しておきたい基本事項が書かれる。中古移動を希望する設置元の店舗は、「撤去遊技機明細書(副)」の写しと「中古遊技機確認書」を併せて販社に渡し、中古移動を依頼する。

今回の改正で新たに加わる書類は4種類。「撤去遊技機明細書」は遊技機が撤去済みであることを証明する書類で、設置元の店舗が正・副2通作成して所轄警察署に提出し、「正」は警察署、「副」は店舗がそれぞれ保管する。同明細書は新制度運用後、撤去した遊技機を中古移動する予定がない場合でも、遊技機の入替・減台に伴って変更承認申請書及び変更届出書を提出する際に、付属書類として必ず所轄警察署に提出することになる。

移動依頼を受けた販社(取扱主任者)は保証書作成のため撤去済み遊技機を事前点検確認し、ビニール包装(パチンコ)や鍵穴(回胴式)にセキュリティシールを貼付して型式の保全措置を行い、保管場所や納品者を記載した「保管・納品確認書」を作成する。遊技機納品時に設置先の店舗では、店舗管理者がビニール包装の破損やセキュリティシールの剥離など異常がないことを確認し、同確認書に署名する。

「中古遊技機確認書」も設置元の店舗が作成する書類で、中古機

「中古ぱちんこ遊技機等(中古回胴式遊技機)点検確認受渡書」も販社が作成する。販社と設置先の店舗管理者は点検項目に沿って設置後の点検確認を行い、問題が

「中古ぱちんこ遊技機等(中古回胴式遊技機)点検確認受渡書」も販社が作成する。販社と設置先の店舗管理者は点検項目に沿って設置後の点検確認を行い、問題が

なければ店舗管理者が同受渡書に署名・押印する。この時点で、責任の所在が販社から店舗側に移る。この設置後の点検確認業務の中で、販社は身分証を提示し、店舗管理者は同受渡書に記載された人物と同一人物であることを確認しなければならぬ。

中古機流通制度の改正で新たに使われる4種類の書類

別記様式第3号	
中古ぱちんこ遊技機等点検確認受渡書(正)	
登録販売業者/特例営業業者	打刻書類交付番号
取扱主任者/取扱管理者	取扱主任者番号
点検日	平成 年 月 日
製造業者	台数
	確認証紙番号
保管・納品確認書	
打刻書類交付番号	
取扱主任者番号	
別記様式 第2号	
中古遊技機確認書	
営業所名	電話番号
所在地	
変更承認申請届出 撤去遊技機明細書(正)	
申請日/届出日	平成 年 月 日
撤去日	平成 年 月 日

なければ店舗管理者が同受渡書に署名・押印する。この時点で、責任の所在が販社から店舗側に移る。この設置後の点検確認業務の中で、販社は身分証を提示し、店舗管理者は同受渡書に記載された人物と同一人物であることを確認しなければならぬ。

一遊運協副理事長の講演、パネルディスカッションを予定している。また、当日は正午から勉強会終了まで、日遊協未来遊技機部会が提案・試作した新スペック機「CRAA」のデモンストレーションも行われる。参加費は1人3000円。希望者は参加申込書(日遊協から会員に配付済み)に記入し、参加費を次の口座に振り込む。

東京都・関東支部が勉強会 5月20日、新「流通」で「CRAA試作機」のデモも

中古機流通制度改正の周知徹底のため、現在全国で、地区ごとに勉強会が開かれているが、日遊協東京都・関東支部は5月20日、東京・墨田区江東橋3の9、すみだ産業会館サンライズホール(丁

三井住友銀行 上野支店
普通 7354289
名義：社団法人日本遊技関連事業協会

問い合わせ先：日遊協事務局内
東京都・関東支部

電話 03・3553・4333(代)